

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 自立の里 放課後等デイサービス だいち		
○保護者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の日頃の出来事や状況等を保護者に伝え共有することを日常的に取り組むことができている。	送迎時に保護者との会話する時間の確保を心掛けたり、LINEを活用して画像をや動画にて児童の様子や状況を分かりやすく伝えることが出来るようにしている。	今後も取り組みを継続していきながら、タイムリーに伝えることが出来るようにしていく。
2	各利用児の体調や特性に応じた支援を継続していくことで、保護者から安心感を持って利用をして頂けている。	各スタッフが専門性を持って各利用児の対応を行い、サービス時に気付いたことや聞きたいことに関して、早々に何うようにしており、支援に繋げている。	日々の体調や趣向の変化、意思の表出方法の気付きなどを送迎時や面談時にタイムリーに共有していく。
3	季節感のある制作活動、生活介護や地域イベントへの参加を楽しむことができている。	ハロウィンやクリスマス等の季節イベントに関連した制作活動を行い、児童が楽しめるように工夫している。また、その様子を家庭でも共有できるようにLINEで画像を送ったりしている。	今後も継続していき、家族でのコミュニケーションツールの一つとなれるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催など保護者同士のつながりが持てていない。	法人のイベント開催時における感染症対策を継続していることもあるが、航空会社と交流を目的としたイベントを実施してご家族にも参加してもらえることができた。	今回の航空会社との交流会を踏まえて、ご家族も参加できるようなイベントを通じて保護者同士の繋がりを持てるような企画を考える。
2	地域のイベント参加や生活介護との交流はあるが、他法人との交流の場がなく、地域の児童や他施設の児童同士の関わる場を設けることができていない。	事業所が、他施設との児童と接点を持つ機会を設定することができていない。	地域のイベントや交流の場を探し、参加を検討する。また、担当者会議等の機会にて他事業所との情報交換ができるように声掛けをしていく。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供ができていない。	情報収集不足である。	せめて家族が参加できる研修会等の情報収集を定期的に行っていく。